

## カーボンニュートラルについて考えよう！

市では、今年度からゼロカーボンシティ推進のため外部専門家を招いて、脱炭素の推進と環境の視点を取り入れたまちづくりを検討しています。

その1つとして外部専門家の堅達 京子さんのコラムを定期的に広報紙に掲載することとなりました。脱炭素について分かりやすく説明していただきますので、今後の参考にしてください。

こんにちは！地域力創造アドバイザーとして、あわら市の「脱炭素推進」のお手伝いをするようになったNHK エンタープライズのプロデューサーの堅達 京子です。

今年度は、事業者間の連携による脱炭素ビジネスモデルの形成や脱炭素へ向けた相談窓口の設置などに取り組んでいきます。

私は永平寺町の出身で長年NHKで気候変動や脱炭素などSDG s関連の番組を制作し、日本環境ジャーナリストの会副会長や環境省、文部科学省の審議会の委員、東京大学客員研究員や福井県立大学客員教授も務めています。専門知識を生かして、あわら市の皆さんのお役にたてれば幸いです。

それにしても、なぜ、今「脱炭素＝カーボンニュートラル」が必要なのでしょうか？

地球温暖化は加速し、平均気温が産業革命前から1.5℃上昇する“危険なゾーン”に突入しようとしています。このままでは熱波や豪雨などの異常気象が増え、熱中症のリスクが高まり、お米や越前がになどあわら市にとって重要な食料にも大きな影響が出ます。こうした事態を食い止め被害を減らすには、CO<sub>2</sub>を削減する脱炭素社会への転換を急ぐ必要があります。

脱炭素社会とはどんな社会なのか、そしてあわら市でのビジネスや私たちの暮らしの中で何ができるのか、これから一緒に考えていきましょう！



▲ NHK エンタープライズ  
プロデューサー堅達 京子さん



## 消費者センターだより

### 海外宝くじが高額当選！？～申し込んでいないのに当選することはありません～

#### 【相談事例】

海外から「3億円が当選した。あなたに受け取る権利がある。」と手紙が届いた。「当選金を受け取るには手数料3千円の支払いが必要である。同封の用紙を使って振り込むか、クレジットカードの番号を書いて送り返すように」と書かれている。宝くじなどに申し込んだ記憶はないが、信用できるか。



#### 【アドバイス】

- ◆ 申し込んでいない宝くじが当選することはありません。
- ◆ 日本国内で海外宝くじを売ること、買うこと、取次をすることは違法となる可能性があります。
- ◆ 一度手数料を支払うと、「次の手続に必要」と言って、新たな手数料の請求につながります。何度手数料を支払ってもお金がもらえることはありません。
- ◆ クレジットカード番号を伝えると、毎月引き落としが続き、カード情報が悪用されるおそれがあります。万一、カード番号を伝えてしまったら、クレジットカード会社に連絡をしてカード番号を変更してください。
- ◆ 手紙のほかに、メールやSMS（電話番号で届くメッセージ）でも「当選した」「お金をプレゼントする」「支援金をあげる」といった通知が届くことがあります。返信したり添付されたURLにアクセスしたりしないようにしましょう。

困ったときは一人で抱え込まず、消費者センターへご相談ください

問合せ あわら市消費者センター ☎ 73-8017 ✉ seikatsu@city.awara.lg.jp  
消費者ホットライン ☎ 188（局番なし）「泣き寝入りは、いやや（188）！」



消費者庁 消費者ホットライン 188  
イメージキャラクター「イヤヤン」

## ふるさとあわらサポート基金（ふるさと納税）の状況をお知らせします

市ではふるさと納税を「ふるさとあわらサポート基金」という名称で受けています。令和5年度は、7億7,963万9千円（令和6年能登半島地震被害に係る寄附金（49件・51万4,409円）を除く）の寄付が寄せられました。ご支援に心からお礼申し上げます。

このうち、北陸新幹線機運醸成事業や小学校児童用机・椅子購入などに同基金事業を推進するために要した経費を合わせた4億8,091万9,900円を活用させていただきました。

この結果、同基金の令和5年度末残高は8億227万3千円となりました。今後も、より多くの皆さまに市を応援いただき、よりよいまちづくりにつなげていけるよう、取り組みを推進します。

■ 問合せ 市民協働課 ふるさと納税推進室 ☎ 73-8003

| 使途事業                                    | 令和5年度   |                |                |                                                                         | 令和4年度までの<br>基金合計 | 令和5年度末<br>基金総額 |
|-----------------------------------------|---------|----------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------|----------------|
|                                         | 件数      | 寄付金額           | 積立額            | 基金取崩額                                                                   |                  |                |
| ① 芦原温泉駅周辺に活気を取り戻し、快適な都市空間に生まれ変わらせるための事業 | 7,307件  | 2億3,039万1,900円 | 2億3,039万1,900円 | 北陸新幹線機運醸成事業など<br>4,320万7,804円                                           | 8,516万9,500円     | 1億4,954万596円   |
| ② ゆのまち情緒にあふれ、にぎわいと華やきを感じさせる温泉街づくりのための事業 | 2,239件  | 7,038万1,800円   | 7,038万1,800円   | あわら温泉開湯140周年祭事業<br>330万297円                                             | 8,491万1,000円     | 1億1,465万503円   |
| ③ 子どものことを考えた学校づくりのための事業                 | 5,478件  | 1億4,954万7,300円 | 1億4,954万7,300円 | 小学校児童用机・椅子購入<br>978万8,900円                                              | 9,144万2,153円     | 1億5,153万8,553円 |
| ④ 北湯湖や竹田川を自然の息吹に満ちた空間によみがえらせるための事業      | 1,685件  | 3,486万4,000円   | 3,486万4,000円   | 全額積立                                                                    | 3,283万2,500円     | 4,902万5,500円   |
| ⑤ 子どもを産み、育てやすい環境と施設づくりのための事業            | 3,931件  | 1億778万9,000円   | 1億778万9,000円   |                                                                         | 9,687万500円       | 1億4,740万2,500円 |
| ⑥ 吉崎の歴史・文化、自然、食等を生かしたまちづくりのための事業        | 815件    | 1,500万円        | 1,500万円        |                                                                         | 0円               | 711万7,000円     |
| ⑦ その他あわら市を元気にするために市長が必要と認める事業           | 5,860件  | 1億6,664万8,000円 | 1億6,664万8,000円 | ・日本女子オープンゴルフ選手権<br>運営事業 500万円<br>・市民活動サポート事業 170万円<br>・食農教育書籍購入 32万112円 | 1億1,231万8,347円   | 1億8,299万8,348円 |
| 〃（ガバメントクラウドファンディング）                     | 187件    | 484万7,000円     | 484万7,000円     | 桑野遺跡出土品レプリカ作成<br>269万5,000円                                             |                  |                |
| 〃（福井県共同窓口受入分）※1                         | 3件      | 17万円           | 17万円           | 基金事業推進経費※2<br>4億1,490万7,787円                                            |                  |                |
| 〃（基金利子など）                               | —       | —              | 9,900円         |                                                                         |                  |                |
| 合 計                                     | 27,505件 | 7億7,963万9,000円 | 7億7,964万8,900円 | 4億8,091万9,900円                                                          | 5億354万4,000円     | 8億227万3,000円   |

※1 令和6年能登半島地震被害に係る寄附金（49件・514,409円）を除きます。  
※2 使途事業ごとの寄付金額に応じて取り崩しをしています。



## 第2次あわら男女共同参画プランについて

～男女が 共に支えあい 共に歩み 共に輝く「あわら」をめざして～



市では、全ての人が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮できる豊かな活力ある社会を目指しています。そのための具体的な施策を示したものが「あわら男女共同参画プラン」です。プランの基本的な考え方は、次のとおりです。

### 男女の人権の尊重

あらゆる場面において、男女が人間としての尊厳を保ちながら、自由に生きるための「人権」が保障されることが必要です。

### 男女の固定的な役割分担意識の改革

「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という先入観を見直し、あらゆる機会を通して、男女共同意識を高めることが必要です。

### 男女が個性と能力を発揮することによる多様性に富んだ活力ある社会の実現

誰もが個性と能力を発揮して、自分で生き方を選び、利益を受けることができる活力ある社会づくりが必要です。

### あらゆる分野での男女のパートナーシップの実現

男女が共に責任を担って、あらゆる分野で参画し、お互いに認め合い、協力し合う意識づくりが必要です。



プランの具体的な施策と実施状況を市のホームページで公表していますのでご覧ください。

◀ 市ホームページ

問合せ 市民協働課 市民活躍推進 G  
☎ 73-8003 ✉ kyoudo@city.awara.lg.jp